

第388回三木市議会臨時会 市長 閉会あいさつ

令和7年7月22日

閉会に当たりまして、ごあいさつを申し上げます。

議員の皆さまにおかれましては、公私何かとご多用のなか、終始ご精励を賜り、ありがとうございました。

おかげをもちまして、このたびの市議会に提案いたしました議案につきまして、適切なるご決定を賜りましたことに、厚くお礼を申し上げます。

本日同意をいただきました副市長とともに、新しい体制で職員の総力を結集し、市政進展と市民福祉の向上のため、誠心誠意取り組む決意でございますので、議員の皆様にはより一層の御指導、御協力をお願いいたします。

さて、2025大阪・関西万博が4月に開幕してから、3か月が経ちました。これまで、「JAPAN EXPO PARIS in Osaka」や「ひょうごフィールドパビリオンフェスティバル2025」、「地方創生SDGsフェス」などへの出展により、三木市の魅

力を国内だけでなく、世界に向けて発信してまいりました。今後、三木市の魅力を存分に国内外の方々に体験していただきます。

先ほど、所信表明でも申し上げたように、今月28日から31日まで、三木金物のシンボルである「金物鷺」を展示します。越前打刃物で組み立てた「昇龍」と共同展示するもので、この競演により、新たな魅力が生まれるものと期待しています。ぜひ、皆さまも会場でご覧いただき、生の迫力、職人たちの熱い思いを感じていただきたいと思います。

また、8月17日には、近畿経済産業局が選定した関西2府5県の12の地域ブランドの一つとして、三木市の地域資源のPRを万博会場内フェスティバルステーションで行います。

「酒米山田錦」、「三木金物」、「ゴルフ」をつないだ体験型ツーリズムの紹介などに加え、内閣官房万博国際交流プログラムを通じたフランスとの交流事業についても発表を行い、三木の魅力を体感いただきます。

さらに、9月には、兵庫県との協働事業として「三木市の日」が設定され、関西パビリオン兵庫県ゾーンに出展します。内閣官房万博国際交流プログラムに参加する三木市とフランスの高校生との交流事業により生まれた作品の紹介や、三木金物とフ

ランス人クリエイターとの共同事業による新商品などのPRを予定しています。

引き続き、国内外から多くの人を訪れる大阪・関西万博において、三木の魅力を最大限に発信し、万博を契機として、万博後の経済の活性化につなげてまいります。

まだまだ厳しい暑さが続きます。議員の皆さまにおかれましても、熱中症には十分ご注意ください、体調管理にはくれぐれもご留意いただきますようお願い申し上げまして、閉会のあいさつといたします。

ありがとうございました。